

開封年月日
年 月 日
開封後に記入してください

【使用方法】



①容器のフタをはずしてください。



②「アー」と声を出しながら頭部を押して、患部に薬液を2～3回直射してください。

※最初は液が出るまで4～5回押してください。

※薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。



③使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



ノズルの先端を針等で突くと薬液が出にくくなったり、折れた時大変危険です。絶対におやめください。



外装フィルム：PP

matsu
kiyo

For severe sore throat pain
caused by inflammation
and for mouth sores.

Throat Spray

のどの炎症による
つらいのどの痛み

31mL

Several
times a day

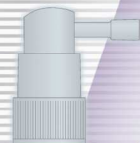
matsu
kiyo

Throat Spray
パープルショット
プラス

31mL

1日数回

のどの炎症による
つらいのどの
痛み



Purple Shot Plus
パープルショットプラス
31mL 第3類医薬品

アズレンスルホン酸ナ
リウム水和物：0.2mg

セチルピリジニウム
塩化物水和物：3mg

口腔咽喉薬

薬のはたらき

のどの痛み

のどの不快感

口内炎

・のどの痛みやはれ
の原因である炎症
をおさえる

・のどの患部を殺菌
する

1mL中

第3類医薬品



4 935583 204469

製造番号

使用期限

効能・効果

のどの炎症によるのどの痛み・のどのはれ・
のどのあれ・のどの不快感・声がれ、口内炎

成分・分量 本剤 1mL中

アズレンスルホン酸ナリウム水和物…0.2mg
セチルピリジニウム塩化物水和物…3mg

添加物として還元麦芽糖水アメ、グリセリン、エタノール、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、0-メンチール、クエン酸、クエン酸Na、pH調整剤、香料を含有する。

保管及び取り扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かない所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わる場合があります。)(4) 薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落としてください。(5) ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出にくくなる場合があります。(6) 火気に近づけないでください。(7) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(8) 本品使用後の一定時間は、呼吸中に酒気帯び運転と判定される濃度以上のアルコール濃度が検出される可能性がありますので、運転中のご使用はお控えください。

発売元 白金製薬株式会社
〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515

お客様相談室 TEL：0744-21-5588
受付時間 9：00～17：00
(土日祝日・年末年始・夏季など特別休業日を除く)

製造 ダイヤ製薬株式会社
販売元 〒634-0803 奈良県橿原市上品寺町515
副作用被害救済制度 ☎0120(149)931

※この商品は(株)マツキヨコカラカンパニーのオリジナル商品です。



ミックス
パッケージ
FSC® C003830



パープルショットプラス

第3類
医薬品

こんな方におすすめ

- のどの炎症によるつらいのどの痛みでお困りの方
- 口内炎でお困りの方
- 殺菌して、のどの炎症を抑えたい方
(殺菌成分：セチルピリジニウム塩化物水和物)

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように大切に保管してください。

使用上の注意

☒ してはけないこと
(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起これやすくなります。)
長期連用しないでください。

■相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(3) 口内のただれがひどい人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	胃部不快感、吐き気
口	刺激感

(1) 症状が悪化した場合。
35～6日間使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

用法・用量

1日数回、適量を患部に噴射塗布してください。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 定められた用法・用量を守ってください。
- (2) 息を吸いこみながら使用すると、薬液が気管支や肺に入ることがありますので、ノズルをのどの患部にむけて、軽く息をはきながら、2～3回噴射してください。
- (3) 塗布にのみ使用し、内服しないでください。
- (4) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (5) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合には、すぐ水またはぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けてください。